

第Ⅱ編

各ファイルの詳細

MEMO

1. 抄録ファイル

1.1 内容

抄録ファイルには以下の項目を記録する。

- ① 公報仕様のバージョン
- ② 発行日
- ③ 公報ボリューム番号
- ④ 一連番号
- ⑤ 公報に格納されている公報の種別
- ⑥ 文献番号の範囲(⑤の公報毎)
- ⑦ 公報の件数(⑤の公報毎)
- ⑧ 収録対象外文献番号
- ⑨ 範囲外から収録した文献番号

1.2 ファイルフォーマット

制御文字CR・LFをレコードデリミタとするテキストファイル(CSV)形式とする。

第1レコードは固定長で、公報仕様のバージョン、発行日、公報ボリューム番号及び公報発行からの一連番号等を記録する。第2レコード以降は、公報に記録する公報種別分存在し、各レコードには公報種別、文献番号の範囲、公報の件数、収録対象外文献番号、範囲外から収録した文献番号等を記録する。

すなわち、公開特許公報、公表特許公報を記録してある公報の場合、抄録ファイルには第1レコード、第2レコードに公開特許公報の情報、第3レコードに公表特許公報の情報が記録される。

なお、発行件数が0件の場合の抄録ファイル内容は、第1レコードのみを記録する。

(1) 第1レコードフォーマット

第1レコードのフォーマットを表1-1に、各項目の説明を以下に示す。特に明示していない限り、文字コードは1バイトコードを使用する。

No.1 公報仕様バージョン

公報仕様のバージョン番号を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②
文字数	2	3
内容例	A_	010

① 公報発行区分:

《公開特許公報・公表特許公報の場合》

"A_"を記録する。

《特許公報の場合》

"B_"を記録する。

《公開実用新案公報・公表実用新案公報・

実用新案登録公報・登録実用新案公報の場合》

"U_"を記録する。

《意匠公報・協議不成立意匠出願公報の場合》

"D_"を記録する。

《公開商標公報・公開国際商標公報の場合》

"TA"を記録する。

《商標公報・国際商標公報・商標書換登録公報の場合》

"TB"を記録する。

《審決公報の場合》

"J_"を記録する。

② バージョン番号: バージョン番号を3桁で記録する。

例) 4.6 版⇒A_046 10.5 版⇒A_105 99.9 版⇒A_999

No.2 区切り文字(カンマ)

項目を区切る“,”を記録する。

No.3 発行日

公報の発行日を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
文字数	4	2	2
内容例	2022	04	01

- ① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
② 月: 月を2桁で記録する。
③ 日: 日を2桁で記録する。

No.4 公報ボリューム番号

公報を一意に識別するボリューム番号を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
文字数	4	1	3
内容例	2022	-	999

- ① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
③ 年間の一連番号: 公報発行区分毎に年間の一連番号を001から始まる3桁で記録する。

No.5 一連番号

一連番号を00001から始まる5桁で記録する。

No.6 レコードデリミタ

制御文字CR・LFを用いる。

表1-1 抄録ファイル・第1レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	公報仕様バージョン	5	文字	B_010
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
3	発行日	8	文字	20220401
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
4	公報ボリューム番号	8	文字	2022-999
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
5	一連番号	5	文字	00001
6	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(2)第2レコード以降のフォーマット

第2レコード以降のフォーマットを表1-2から表1-4に、各項目の説明を以下に示す。特に明示していない限り、文字コードは1バイトコードを使用する。

No.1 公報種別

公報種別の名称と、公報種別に対応するディレクトリ名を記録する。ディレクトリ名は公報種別名の後に、1バイトコードで、同じく1バイトコードの括弧で括って記録する。ディレクトリ名が1文字の場合は、ディレクトリ名の後に1バイトコードのスペースを1文字分付けて記録する。全角40文字固定であり、全角40文字に満たない場合は後ろに1バイトコードのスペースを埋める。公報種別の名称とディレクトリ名との対応および掲載順序は、『第I編 表3-8-1 公報種別とディレクトリ名との対応』を参照。

No.2 区切り文字(カンマ)

項目を区切る“,”を記録する。

No.3 文献番号の範囲

公報(公報種別(No.1)に対応するもの)の文献番号の範囲を、「最小番～最大番」のフォーマットで記録する。公開国際商標公報(訂正・補正含む)、国際商標公報(訂正含む)、審決公報は文献番号の範囲を持たず、スペース「」(24)を記録する。

各公報種別の文献番号範囲は次のフォーマットで記録する。

公開特許公報(訂正・補正含む)・公表特許公報(訂正含む)・国際公開後における補正の掲載(訂正含む)・公告特許公報(訂正公報)・公開実用新案公報(訂正公報)・公表実用新案公報(訂正公報)・公告実用新案公報(訂正公報)・協議不成立意匠出願公報(訂正含む)・公開商標公報(訂正・補正含む)の場合の文献識別番号フォーマットを以下に示す。

項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
文字数	4	1	6	1	4	1	6
内容例	2022	-	010001	～	2022	-	013500

- ① 西暦年: 開始西暦年を4桁で記録する。
- ② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
- ③ 文献番号の下6桁: 格納する公報の内、最小の文献番号の下6桁を記録する。
- ④ デリミタ: 範囲を示すデリミタ。マルチバイトコードの“～”を記録する。
- ⑤ 西暦年: 最終西暦年を4桁で記録する。
- ⑥ 文献番号の下6桁: 格納する公報の内、最大の文献番号の下6桁を記録する。

※④はマルチバイトコード、その他は1バイトコードとする。

登録実用新案公報(訂正含む)・実用新案登録公報(訂正公報)・特許公報(訂正含む)・訂正明細書等の掲載(訂正含む)・意匠公報(訂正含む)・商標公報(訂正含む)・商標書換登録公報(訂正公報)・の場合の文献識別番号フォーマットを以下に示す。

項目番号	①	②	③	④
文字数	V	1	V	2
内容例	0002500001	～	0002503000	△△

(注) “△”はスペースを示す。

- ① 文献識別番号: 格納する公報の内、最小の文献識別番号を記録する。
- ② デリミタ: 範囲を示すデリミタ。マルチバイトコードの“～”を記録する。

③ 文献識別番号: 格納する公報の内、最大の文献識別番号を記録する。

④ デリミタ: スペース2個を記録する。

※②はマルチバイトコード、その他は1バイトコードとする。

※商標訂正公報の公告番号のものについては、文献番号範囲に含めない。

例) 分割番号、防護標章登録を含む場合、以下の様に記録する。

0002500001-1-1/1～0002503000-1-2

No.4 公報の件数

公報(公報種別(No.1)に対応するもの)の件数を5桁の数字で記録する。

No.5 収録対象外文献番号

公開商標公報、特許公報、意匠公報、商標公報及び登録実用新案公報について収録対象外文献番号を編集する。

公報(公報種別(No.1)に対応するもの)の収録対象外文献番号を次のフォーマットで記録する。

公開商標公報の場合の文献識別番号フォーマットを以下に示す。

項目番号	①	②	③	④	⑤	②	⑥
文字数	4	1	6	1	4	1	6
内容例	2022	-	500441	;	2022	-	500541

① 西暦年: 開始西暦年を4桁で記録する。
収録対象外とした文献番号が存在しない場合は、1バイトコードのスペース4文字を記録する。

② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
収録対象外とした文献番号が存在しない場合は、1バイトコードのスペース1文字を記録する。

③ 文献番号の下6桁: 収録対象外とした文献番号の下6桁を記録する。
収録対象外とした文献番号が存在しない場合は、1バイトコードのスペース6文字を記録する。
文献番号が複数個ある場合は、以下の④、⑤、②及び⑥を繰り返して記録する。

④ デリミタ: 文献番号が複数個ある場合はセミコロン(;)で区切る。

⑤ 西暦年: 開始西暦年を4桁で記録する。

⑥ 文献番号の下6桁: 収録対象外とした文献番号の下6桁を記録する。

公開国際商標公報、特許公報、意匠公報、商標公報及び登録実用新案公報の場合の文献識別番号フォーマットを以下に示す。

項目番号	①	②	③
長さ	V	1	V
内容例	0002500501	;	0002500601

① 文献識別番号: 収録対象外とした文献識別番号を記録する。
収録対象外とした文献識別番号が存在しない場合は、1バイトコードのスペース10文字を記録する。

文献番号が複数個ある場合は、以下の②と③を繰り返して記録する。

- ② デリミタ: 文献番号が複数個ある場合はセミコロン(;)で区切る。
- ③ 文献識別番号: 収録対象外とした文献識別番号を記録する。
例) 分割番号、防護標章登録を含む場合、以下の様に記録する。
0002500001-1-1/1;0002503000-1-2

No.6 範囲外から収録した文献番号

公開商標公報、特許公報、意匠公報、商標公報及び登録実用新案公報について範囲外から収録した文献番号を編集する。

公報(公報種別(No.1))に対応するもの)の範囲外から収録した文献番号を次のフォーマットで記録する。

公開商標公報の場合の文献識別番号フォーマットを以下に示す。

項目番号	①	②	③	④	⑤	②	⑥
文字数	4	1	6	1	4	1	6
内容例	2022	-	490001	;	2022	1	490240

- ① 西暦年: 開始西暦年を4桁で記録する。
範囲外から収録した文献番号が存在しない場合は、1バイトコードのスペース4文字を記録する。
- ② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
範囲外から収録した文献番号が存在しない場合は、1バイトコードのスペース1文字を記録する。
- ③ 文献番号の下6桁: 範囲外から収録した文献番号の下6桁を記録する。
範囲外から収録した文献番号が存在しない場合は、1バイトコードのスペース6文字を記録する。
文献番号が複数個ある場合は、以下の④、⑤、②及び⑥を繰り返して記録する。
- ④ デリミタ: 文献番号が複数個ある場合はセミコロン(;)で区切る。
- ⑤ 西暦年: 開始西暦年を4桁で記録する。
- ⑥ 文献番号の下6桁: 範囲外から収録した文献番号の下6桁を記録する。

特許公報、意匠公報、商標公報及び登録実用新案公報の場合の文献識別番号フォーマットを以下に示す。

項目番号	①	②	③
長さ	V	1	V
内容例	0002490001	;	0002490301

- ① 文献識別番号: 範囲外から収録した文献識別番号を記録する。
範囲外から収録した文献識別番号が存在しない場合は、1バイトコードのスペース10文字を記録する。
文献番号が複数個ある場合は、以下の②と③を繰り返して記録する。
- ② デリミタ: 文献番号が複数個ある場合はセミコロン(;)で区切る。
- ③ 文献識別番号: 範囲外から収録した文献識別番号を記録する。
例) 分割番号、防護標章登録を含む場合、以下の様に記録する。
0002500001-1-1/1;0002503000-1-2

No.7 レコードデリミタ

制御文字CR・LFを用いる。

表1-2 抄録ファイル・第2レコード以降のフォーマット
(公開特許公報・公表特許公報・協議不成立意匠出願公報の場合)

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	公報種別(ディレクトリ)	40	文字	公表特許公報(P_P1)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
3	文献番号の範囲	23	文字	2022-500001～2022-500240
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
4	公報の件数	5	文字	00240
7	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

表1-3 抄録ファイル・第2レコード以降のフォーマット
(公開商標公報の場合)

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	公報種別(ディレクトリ)	40	文字	公開商標公報(T_T1)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
3	文献番号の範囲	23	文字	2022-500001～2022-500240
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
4	公報の件数	5	文字	00240
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
5	収録対象外文献番号	V	文字	2022-500041;2022-500043
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
6	範囲外から収録した文献番号	V	文字	2022-490001;2022-490240
7	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注) No.5, No.6の文字数の欄の“V”は可変長であることを示す。

表1-4 抄録ファイル・第2レコード以降のフォーマット
(特許公報・登録実用新案公報・意匠公報・商標公報の場合)

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	公報種別(ディレクトリ)	40	文字	特許公報(P_B1)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
3	文献番号の範囲	V	文字	0002500001～0002503000
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
4	公報の件数	5	文字	03000
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
5	収録対象外文献番号	V	文字	0002500501;0002500601
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
6	範囲外から収録した文献番号	V	文字	0002490001;0002490301
7	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注) No.5, No.6の文字数の欄の“V”は可変長であることを示す。

表1-5 抄録ファイル・第2レコード以降のフォーマット
(公開国際商標公報・国際商標公報・審決公報の場合)

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	公報種別(ディレクトリ)	40	文字	公開国際商標公報(TIT1)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
3	文献番号の範囲	24	文字	△△△△△……△
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
4	公報の件数	5	文字	00100
7	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

2. 文献リストファイル

公開公報(特許)・登録公報(特許)・登録公報(実用)・登録公報(意匠)・公開公報(商標)・登録公報(商標)を対象とする。

2.1 内容

文献リストファイルには以下の項目を記録する。

- ① 国コード(ST.3準拠)
- ② 文献番号
- ③ 公報種別コード
- ④ 発行日

2.2 ファイルフォーマット

制御文字CR・LFをレコードデリミタとするテキストファイル(CSV)形式とする。レコードは公報に含まれる事件分記録する。すなわち、公開特許公報500件、公表特許公報250件を記録してある公報の場合、文献リストファイルには750レコード存在する。フォーマットを表2-1に、各項目の説明を以下に示す。特に明示していない限り、文字コードは1バイトコードを使用する。

文献リストファイルの記録順序は、『表2-2 公報種別コード対応表』の記載順序とする。

No.1 国コード

国コード("JP")を記録する。コード体系はWIPO標準ST.3(国及び機関2文字コード)に準拠する。

No.2 区切り文字(カンマ)

項目を区切る","を記録する。

No.3 文献番号

公報(公報種別コード(No.4)に対応するもの)の文献番号を次のフォーマットで記録する。

公開特許公報(訂正・補正含む)・公表特許公報(訂正)・国際公開後における補正の掲載(訂正含む)・公告特許公報(訂正公報)・公開実用新案公報(訂正公報)・公表実用新案公報(訂正公報)・協議不成立意匠出願公報(訂正含む)・公開商標公報(訂正・補正含む)の場合の文献番号フォーマットを以下に示す。

項目番号	①	②
長さ	4	6
内容例	2022	010001

- ① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
- ② 文献番号の下6桁: 文献番号の下6桁を記録する。

特許公報(訂正含む)・実用新案登録公報(訂正公報)・登録実用新案公報(訂正含む)・意匠公報(訂正含む)・公開国際商標公報(訂正・補正含む)・商標公報(訂正含む)・国際商標公報(訂正含む)・商標書換登録公報(訂正公報)の場合の文献識別番号フォーマットを以下に示す。

《分割、防護番号がない場合》

項目番号	①
長 さ	7
内容例	1234567

- ① 文献番号: 文献番号を7桁で記録する。

《分割番号の場合》

項目番号	①	②	③
長 さ	7	1	1
内容例	1234567	-	1

- ① 文献番号: 文献番号を7桁で記録する。

- ② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。

- ③ 分割番号: 分割番号を1桁で記録する。

※分割番号が続く場合、②、③を繰り返す。

《防護番号の場合》

項目番号	①	②	③
長 さ	7	1	V
内容例	1234567	/	1

- ① 文献番号: 文献番号を7桁で記録する。

- ② セパレータ: “/”を記録する。

- ③ 防護番号: 防護標章登録の号数を1～3桁で記録する。

公報種別と文献番号の対応は、『第 I 編 表3-13-1 公報種別と文献識別番号のフォーマットとの対応(ファイル名)』を参照。

No.4 公報種別コード

公報種別を表すコードを記録する。公報種別と公報種別コードの関係を表2-2に示す。

No.5 発行日

発行日を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
長 さ	4	2	2
内容例	2022	11	22

- ① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。

- ② 月: 月を2桁で記録する。

- ③ 日: 日を2桁で記録する。

No.6 レコードデリミタ

制御文字CR・LFを用いる。

表2-1 文献リストファイルのフォーマット(公開特許公報)

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	国コード	2	文字	JP
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
3	文献番号	V	文字	2022010001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
4	公報種別コード	V	文字	A
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
5	発行日	8	文字	20220401
6	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注) No.4,の文字数の欄の“V”は可変長であることを示す。

表2-2 公報種別コード対応表(1/2)

No	公報種別	公報種別コード
1	公開特許公報	A
2	補正の掲載(公開特許公報)	A5
3	訂正(公開特許公報)	A6
4	公表特許公報	A
5	国際公開後における補正の掲載	A5
6	訂正(公表特許公報)	A6
7	訂正(国際公開後における補正の掲載)	A6
8	特許公報	B1またはB2
9	訂正(特許公報)	B6
10	訂正(公告特許公報)	B6
11	訂正(公開実用新案公報)	U6
12	訂正(公表実用新案公報)	U6
13	訂正(実用新案公報)	Y6
14	訂正(公告実用新案公報)	Y6
15	登録実用新案公報	U
16	訂正(登録実用新案公報)	U6
17	訂正明細書等の掲載	U7
18	訂正(訂正明細書等の掲載)	U6
19	意匠公報	D
20	訂正(意匠公報)	D6
21	協議不成立意匠出願公報	D
22	訂正(協議不成立意匠出願公報)	D6
23	公開商標公報	T
24	訂正(公開商標公報)	T6
25	出願公開後における補正の掲載(公開商標公報)	T5
26	公開国際商標公報	T

表2-2 公報種別コード対応表(2/2)

No	公報種別	公報種別コード
27	訂正(公開国際商標公報)	T6
28	出願公開後における補正の掲載(公開国際商標公報)	T5
29	商標公報	R
30	訂正(商標公報)	R6
31	国際商標公報	R
32	訂正(国際商標公報)	R6
33	訂正(商標書換登録公報)	R7

3. 目次ファイル

3.1 内容

目次ファイルには公報毎に以下の項目を記録する。

3.1.1 公開公報(特許)・登録公報(特許)・登録公報(実用)

《公開特許公報の場合》

- ① 部門・区分
- ② 文献番号(公開番号)
- ③ 出願番号
- ④ 審査請求の有無
- ⑤ IPC
- ⑥ 発明の名称
- ⑦ 都道府県国籍等
- ⑧ 出願人の識別番号
- ⑨ 出願人氏名(名称)

《公表特許公報の場合》

- ① 部門・区分
- ② 文献番号(公表番号)
- ③ 出願番号
- ④ 審査請求の有無
- ⑤ IPC
- ⑥ 発明の名称
- ⑦ 都道府県国籍等
- ⑧ 出願人の識別番号
- ⑨ 出願人氏名(名称)

《特許公報の場合》

- ① 部門・区分
- ② 文献番号(特許番号)
- ③ 登録日
- ④ 出願番号
- ⑤ 権利譲渡・実施許諾、早期審理・早期審査、国際特許出願の注意書きの有無
- ⑥ IPC
- ⑦ 発明の名称
- ⑧ 都道府県国籍等
- ⑨ 特許権者の識別番号
- ⑩ 特許権者氏名(名称)

《登録実用新案公報の場合》

- ① 部門・区分
- ② 文献番号(実用新案登録番号)
- ③ 登録日
- ④ 出願番号
- ⑤ 評価書請求の有無、権利譲渡・実施許諾、国際実用出願の場合の注意書き
- ⑥ IPC
- ⑦ 考案の名称
- ⑧ 都道府県国籍等
- ⑨ 実用新案権者の識別番号
- ⑩ 実用新案権者氏名(名称)

3.1.2 登録公報(意匠)・公開公報(商標)・登録公報(商標)

《意匠公報の場合》

- ① 状態マーク
- ② 登録番号
- ③ 秘密解除意匠の登録番号
- ④ 意匠分類
- ⑤ 意匠に係る物品
- ⑥ 登録日
- ⑦ 出願番号
- ⑧ 出願日
- ⑨ 都道府県国籍等
- ⑩ 意匠権者

《協議不成立意匠出願公報の場合》

- ① 状態マーク
- ② 意匠登録出願番号
- ③ 意匠分類
- ④ 意匠に係る物品
- ⑤ 出願日
- ⑥ 都道府県国籍等
- ⑦ 出願人

《商標公報の場合》

- ① 状態マーク
- ② 登録番号
- ③ 登録日
- ④ 出願番号
- ⑤ 商品及び役務の区分
- ⑥ 都道府県国等
- ⑦ 商標権者
- ⑧ 分割納付マーク

《公開商標公報の場合》

- ① 出願番号
- ② 出願日
- ③ 商品及び役務の区分
- ④ 出願人

《公開国際商標公報の場合》

- ① 国際登録番号
- ② 国際登録日
- ③ 事後指定日
- ④ 商品及び役務の区分
- ⑤ 出願人

《国際商標公報の場合》

- ① 状態マーク
- ② 国際登録番号
- ③ 登録日
- ④ 商品及び役務の区分
- ⑤ 商標権者

3.1.3 審決公報

《特許審決公報の場合》

- ① 種別
- ② 審判番号
- ③ 審決日
- ④ 最終処分
- ⑤ 特許番号
- ⑥ 審決分類
- ⑦ 発明の名称
- ⑧ 請求人
- ⑨ 被請求人等

《特許部分確定審決公報の場合》

- ① 種別
- ② 審判番号
- ③ 審決日
- ④ 特許番号
- ⑤ 審決分類
- ⑥ 請求人
- ⑦ 被請求人等

《特許決定公報の場合》

- ① 種別
- ② 事件番号等
- ③ 決定日
- ④ 最終処分
- ⑤ 特許番号
- ⑥ 審決分類
- ⑦ 発明の名称
- ⑧ 申立人等
- ⑨ 権利者等

《特許部分確定決定公報の場合》

- ① 種別
- ② 事件番号等
- ③ 決定日
- ④ 特許番号
- ⑤ 審決分類
- ⑥ 申立人等
- ⑦ 権利者等

《特許再審公報の場合》

- ① 審判番号
- ② 審決日
- ③ 最終処分
- ④ 審決分類
- ⑤ 発明の名称
- ⑥ 請求人

《実用新案審決公報の場合》

- ① 種別
- ② 審判番号
- ③ 審決日
- ④ 最終処分
- ⑤ 登録番号
- ⑥ 審決分類
- ⑦ 考案の名称
- ⑧ 請求人
- ⑨ 被請求人等

《実用新案部分確定審決公報の場合》

- ① 種別
- ② 審判番号
- ③ 審決日
- ④ 登録番号
- ⑤ 審決分類
- ⑥ 請求人
- ⑦ 被請求人等

《実用新案再審公報の場合》

- ① 審判番号
- ② 審決日
- ③ 最終処分
- ④ 審決分類
- ⑤ 考案の名称
- ⑥ 請求人

《意匠審決公報の場合》

- ① 種別
- ② 審判番号
- ③ 審決日
- ④ 最終処分
- ⑤ 登録番号
- ⑥ 審決分類
- ⑦ 意匠に係る物品
- ⑧ 請求人
- ⑨ 被請求人等

《意匠再審公報の場合》

- ① 審判番号
- ② 審決日
- ③ 最終処分
- ④ 審決分類
- ⑤ 意匠に係る物品
- ⑥ 請求人

《商標審決公報の場合》

- ① 種別
- ② 審判番号
- ③ 審決日
- ④ 最終処分
- ⑤ 登録番号
- ⑥ 審決分類
- ⑦ 請求人
- ⑧ 被請求人等

《商標部分確定審決公報の場合》

- ① 種別
- ② 審判番号
- ③ 審決日
- ④ 登録番号
- ⑤ 審決分類
- ⑥ 請求人
- ⑦ 被請求人等

《商標決定公報の場合》

- ① 種別
- ② 事件番号等
- ③ 決定日
- ④ 最終処分
- ⑤ 登録番号
- ⑥ 審決分類
- ⑦ 申立人等
- ⑧ 権利者等

《商標部分確定決定公報の場合》

- ① 種別
- ② 事件番号等
- ③ 決定日
- ④ 登録番号
- ⑤ 審決分類
- ⑥ 申立人等
- ⑦ 権利者等

《商標再審公報の場合》

- ① 審判番号
- ② 審決日
- ③ 最終処分
- ④ 審決分類
- ⑤ 請求人

《判決公報の場合》

- ① 種別
- ② 出訴番号
- ③ 判決言渡日
- ④ 原審番号
- ⑤ 事件名
- ⑥ 原告

3.2 ファイルフォーマット[CONTENTS.csv、CONTENTS1.csv]

3.2.1 公開公報(特許)・登録公報(特許)・登録公報(実用)

制御文字CR・LFをレコードデリミタとするテキストファイル形式とする。1目次レコード/公報とし、各レコードは可変長とする。また、各レコードは文献番号順にソートして記録する。通常の(欠号ではない)公報の目次レコードのフォーマットを表3-1に、各項目の説明を以下に示す。特に明示していない限り、文字コードは1バイトコードを使用する。

No.1 レコード長

1レコードの文字数を5桁の数字で記録する。

No.2 区切り文字(カンマ)

項目を区切る","を記録する。

No.3 部門・区分

本目次が属する部門及び区分を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③	④
文字数	1	1	2	1
内容例	3	(	02	)

① 部門: 部門を1桁の数字で記録する。

② デリミタ: "("を記録する。

③ 区分: 区分を2桁の数字で記録する。

④ デリミタ: ")"を記録する。

※①～④とも1バイトコードとする。

No.4 文献番号

《公開特許公報・公表特許公報の場合》

公開番号、公表番号共に次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
文字数	4	1	6
内容例	2017	-	090001

- ① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
③ 公開(公表)番号の下6桁: 公開(公表)番号の下6桁を記録する。

※①～③とも1バイトコードとする。

《特許公報・登録実用新案公報の場合》

特許番号または実用新案登録番号を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
文字数	1	1	8
内容例	特	-	03004001

- ① 番号種別: 特許番号の場合“特”を、実用新案登録番号の場合“登”を記録する。
② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
③ 登録番号: 登録番号を記録する。

※①はマルチバイトコード、その他は1バイトコードとする。

No.5 登録日

登録日を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
長さ	4	2	2
内容例	2020	04	01

- ① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
② 月: 月を2桁で記録する。
③ 日: 日を2桁で記録する。

No.6 出願番号

出願番号を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
文字数	4	1	6
内容例	2000	-	012345

- ① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
③ 出願番号の下6桁: 出願番号の下6桁を記録する。

※①～③とも1バイトコードとする。

No.7 審査請求の有無等の数

審査請求の有無等(No.8)の繰り返し数を2桁の数字で記録する。

No.8 審査請求の有無等

《公開特許公報・公表特許公報の場合》

審査請求の有無を下記の場合に記録する。

① 審査請求が有る場合: 文字“請”を記録する。

※①はマルチバイトコードとする。

《登録実用新案公報の場合》

評価書請求の有無や実施許諾等の注意書きを下記の場合に記録する。下記の複数の条件に該当する場合は、繰り返し毎に区切り文字(カンマ)(No.2)を記録する。

① 評価書請求が有る場合: 文字“評”を記録する。

② 権利譲渡または実施許諾の用意がある場合: 文字“※”を記録する。

③ 国際実用新案出願の場合: 文字“際”を記録する。

※①～③はマルチバイトコードとする。

《特許公報の場合》

実施許諾や国際特許出願等の注意書きを下記の場合に記録する。下記の複数の条件に該当する場合は、繰り返し毎に区切り文字(カンマ)(No.2)を記録する。

① 権利譲渡または実施許諾の用意がある場合: 文字“※”を記録する。

② 早期審査または早期審理対象出願の場合: 文字“早”を記録する。

③ 国際特許(実用新案)出願の場合: 文字“際”を記録する。

※①～③はマルチバイトコードとする。

No.9 IPC数

IPC(No.10)の繰り返し数を2桁の数字で記録する。

No.10 IPC

IPCを次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
文字数	2	1	2	1	4	1	6	10
内容例	//	A	01	H	1234	/	456789	(20050115)

① 付加情報: “//”、またはスペースを記録する。

② セクション: “0”、“A”～“H”を記録する。

③ クラス: “00”～“99”、またはスペースを記録する。

④ サブクラス: “0”、“A”～“Z”、またはスペースを記録する。

⑤ メイングループ: “△△△0”～“9999”、またはスペースを記録する。

⑥ セパレータ: “/”、またはスペースを記録する。

⑦ サブグループ: “00△△△△”～“999999”、またはスペースを記録する。

⑧ バージョン情報: “(YYYYMMDD)”形式または、“(00000000)”でバージョン情報を記録する。

※①～⑧とも1バイトコードとする。“△”はスペースを示す。

No.11 発明(考案)の名称の長さ

発明(考案)の名称(No.12) の文字数を4桁の数字で記録する。

No.12 発明(考案)の名称

発明(考案)の名称をマルチバイトコードで記録する。

No.13 出願人数または特許(実用新案登録)権者数

都道府県国籍等の長さ(No.14) から、出願人氏名(名称)または特許(実用新案登録)権者氏名(名称)(No.18) までの繰り返し数(区切り文字のカンマも含む)を2桁の数字で記録する。

No.14 都道府県国籍等の長さ

都道府県国籍等(No.15) の文字数を2桁の数字で記録する。

No.15 都道府県国籍等

都道府県国籍等をマルチバイトコードで記録する。

No.16 出願人または特許(実用新案登録)権者の識別番号

9桁の識別番号を括弧で括って記録する。全て1バイトコードとする。電子出願開始前の出願の場合及び審判請求後の案件の場合で出願人または特許(実用新案登録)権者の識別番号がない場合は、1バイトコードのスペースを11文字記録する。

No.17 出願人氏名(名称)または特許(実用新案登録)権者氏名(名称)の長さ

出願人氏名(名称)または特許(実用新案登録)権者氏名(名称)(No.18) の文字数を4桁の数字で記録する。

No.18 出願人氏名(名称)または特許(実用新案登録)権者氏名(名称)

出願人氏名(名称)または特許(実用新案登録)権者氏名(名称)をマルチバイトコードで記録する。

No.19 レコードデリミタ

制御文字CR・LFを用いる。

公報が欠号の場合のフォーマットを表3-2-1-2に示す。公報が欠号の場合、審査請求の有無等(No.8)の欄に文字“欠”を記録する。文献番号(No.4)のフォーマットは表3-2-1-1と同様であり、その他の項目の内容は表3-2-1-2のとおり固定値とする。

表3-2-1-1 通常の公報の目次レコードフォーマット(1/2)

No	意味		文字数	データ タイプ	内容例
1	レコード長		5	文字	00132
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
3	部門・区分		5	文字	3(02)
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
4	文献番号		V	文字	2022-090001
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
5	登録日(注3)		8	文字	20220416
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
6	出願番号		11	文字	2022-012345
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
7	審査請求の有無等の数		2	文字	01
2	返 繰 り	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
8		審査請求の有無等	1	文字	評
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
9	IPC数		2	文字	01
2	返 繰 り	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
10		IPC	27	文字	//A01H1234/456789(20050115)
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
11	発明(考案)の名称の長さ		4	文字	0010
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
12	発明(考案)の名称		V	文字	ファクシミリ走査装置
2	区切り文字(カンマ)		1	文字	“, ”
13	出願人数または特許(実用新案登録)権者数		2	文字	01
2	繰 り 返 し	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
14		都道府県国籍等の長さ	2	文字	02
2		区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
15		都道府県国籍等	V	文字	東京
2		区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
16		出願人または特許(実用新案登録)権者の識別番号	11	文字	(090000423)

表3-2-1-1 通常の公報の目次レコードフォーマット(2/2)

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
17	出願人氏名(名称)または権者氏名 (名称)の長さ	4	文字	0008
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
18	出願人氏名(名称)または権者氏名(名称)	V	文字	特許発明株式会社
19	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)"△"は1バイトコードのスペースで領域を埋めることを示す。

(注2)"V"は可変長であることを示す。

(注3)登録日は特許公報または登録実用新案公報のみ。

表3-2-1-2 公報が欠号の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	レコード長	5	文字	00062
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
3	部門・区分	5	文字	△△△△△
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	文献番号	V	文字	特-03004001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	登録日(注3)	8	文字	△△△△△△△△
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
6	出願番号	11	文字	△△△△△△△△△△△
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審査請求の有無等の数	2	文字	01
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
8	審査請求の有無等	1	文字	欠
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	IPC数	2	文字	00
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
11	発明(考案)の名称の長さ	4	文字	0000
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	特許(実用新案登録)権者数	2	文字	00
19	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)"△"は1バイトコードのスペースで領域を埋めることを示す。

(注2)"V"は可変長であることを示す。

(注3)登録日は特許公報または登録実用新案公報のみ。

3.2.2 登録公報(意匠)・公開公報(商標)・登録公報(商標)

制御文字 CR・LF をレコードデリミタとするテキストファイル形式とする。1 目次レコード/公報とし、各レコードは可変長とする。また、各レコードは文献番号順にソートして記録する。

No.1 状態マーク

審判請求や早期審査等の注意書きを下記の場合に記録する。設定値はマルチバイトコードとし、複数の条件に該当する場合は併記する。複数の条件に該当する場合、下記表の順に併記する。

表3-2-2-1 意匠公報で利用する状態マーク

設定値	設定値が示す意味	設定値としての発生有無	
		意匠公報	協議不成立意匠出願公報
審	審判になった場合	○	○
早	早期審査または早期審理対象出願の場合	○	○
秘	秘密になった場合	○	○
擬	擬似秘密になった場合	×	○
解	秘密解除になった場合	○	○
消	秘密期間中に権利が抹消し秘密解除になった場合	○	×
欠	欠号になった場合	○	×
※	権利譲渡または実施許諾の用意がある場合	○	×
ハ	国際意匠登録出願案件である場合	○	○
(なし)	上記のどれにも該当しない	○	○

表3-2-2-2 商標公報で利用する状態マーク

設定値	設定値が示す意味	設定値としての発生有無	
		商標公報	商標書換登録公報(訂正)
審	審判になった場合	○	○
早	早期審査または早期審理対象出願の場合	○	×
特	特例商標の場合	○	×
音	音声ファイルがある場合	○	×
欠	欠号になった場合	○	×
(なし)	上記のどれにも該当しない	○	○

表3-2-2-3 国際商標公報で利用する状態マーク

設定値	設定値が示す意味
審	審判になった場合
早	早期審査または早期審理対象出願の場合
音	音声ファイルがある場合
(なし)	上記のどれにも該当しない

No.2 区切り文字(カンマ)

項目を区切る“,”を記録する。

No.3 登録番号

《通常の場合》

項目番号	①
文字数	7
内容例	1234567

① 登録番号: 登録番号を7桁で記録する。

《類似の場合》

項目番号	①	②	③
文字数	7	1	V
内容例	9599299	/	1

① 登録番号: 登録番号を7桁で記録する。

② セパレータ: "/"を記録する。

③ 類似登録番号 類似登録番号の号数を記録する。

《分割の場合》

項目番号	①	②	③
文字数	7	1	1
内容例	1234567	-	1

① 文献番号: 文献番号を7桁で記録する。

② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。

③ 分割番号: 分割番号を1桁で記録する。

※分割番号が続く場合、②、③を繰り返す。

例) 商標登録第1234567号の1の1とする場合、以下の様に記録する。

1234567-1-1

《防護の場合》

項目番号	①	②	③
文字数	7	1	V
内容例	9599299	/	1

① 文献番号: 文献番号を7桁で記録する。

② セパレータ: "/"を記録する。

③ 防護番号: 防護標章登録の号数を1～3桁で記録する。

《分割+防護の場合》

項目番号	①	②	③	④	⑤
文字数	7	1	1	1	V
内容例	1234567	-	1	/	1

① 文献番号: 文献番号を7桁で記録する。

② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。

③ 分割番号: 分割番号を1桁で記録する。

④ セパレータ: "/"を記録する。

⑤ 防護番号: 防護標章登録の号数を1～3桁で記録する。

※分割番号が続く場合、②、③を繰り返す。

例) 商標登録第1234567号の2の1の防護標章登録1の場合、以下の様に記録する。

1234567-2-1/1

公報種別と登録番号の対応及び記録順序は、『第 I 編 表3-13-1 公報種別と文献識別番号のフォーマットとの対応(ファイル名)』を参照。

No.4 秘密解除意匠の登録番号

項目番号	①
文字数	7
内容例	1234567

① 登録番号: 登録番号を7桁で記録する。

※秘密解除されていない場合は、1バイトコードのスペース7文字を記録する。

No.5 意匠分類

項目番号	①	②	③	④	⑤
文字数	1	1	1	V	V
内容例	D	2	-	332	W

① グループ: グループをアルファベット1文字で記録する。

② 大分類: 大分類を“0～9”の1桁で記録する。

③ デリミタ: ハイフン“-”を記録する。

④ 小分類: 小分類を5桁までの数字で記録する。

⑤ 画像意匠分類 画像意匠分類が存在する場合に記録する。

例) 画像意匠分類が存在する場合、以下の様に記録する。

F2-11500W(グループ+大分類+“-”+小分類+画像意匠分類)

No.6 意匠に係る物品

意匠に係る物品の名称を記録する。

No.7 登録日

登録日を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
長さ	4	2	2
内容例	2020	04	01

① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。

② 月: 月を2桁で記録する。

③ 日: 日を2桁で記録する。

No.8 出願番号

出願番号を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
文字数	4	1	6
内容例	2000	-	012345

① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。

② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。

③ 出願番号の下6桁: 出願番号の下6桁を記録する。

※①～③とも1バイトコードとする。

No.9 出願日

出願日を記録する。フォーマットはNo.7を参照。

No.10 都道府県国等

都道府県名または国名を記録する。

No.11 意匠権者

意匠権者名称を記録する。複数発生する場合は、人数を併記する。

No.12 意匠登録出願番号

意匠登録出願番号を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
文字数	4	1	6
内容例	2000	-	012345

① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。

② デリミタ: ハイフン“-”を記録する。

③ 意匠登録出願番号の下6桁: 意匠登録出願番号の下6桁を記録する。

※①～③とも1バイトコードとする。

No.13 商品及び役務の区分

商品及び役務の区分を数字で記録する。複数発生する場合は、読点“、”で併記する。

No.14 商標権者

商標権者名称を記録する。複数発生する場合は、人数を併記する。

No.15 分割納付マーク

分割納付があった場合、文字“分”を記録する。

No.16 出願人

出願人名称を記録する。複数発生する場合は、人数を併記する。

No.17 国際登録番号

《通常の場合》

項目番号	①
文字数	7
内容例	9876543

- ① 国際登録番号: 国際登録番号を7桁で記録する。

《分割の場合》

項目番号	①	②
文字数	7	1
内容例	9876543	A

- ① 国際登録番号: 国際登録番号を7桁で記録する。

- ② 分割記号: 分割記号を“A～Z”で記録する。

例) 商標登録第9876543号の分割の場合、以下の様に記録する。

9876543A

《防護の場合》

項目番号	①	②	③
文字数	7	1	V
内容例	9876543	/	1

- ① 国際登録番号: 国際登録番号を7桁で記録する。

- ② セパレータ: “/”を記録する。

- ③ 防護番号: 防護標章登録の号数を1～3桁で記録する。

《分割+防護の場合》

項目番号	①	②	③	④
文字数	7	1	1	V
内容例	9876543	A	/	1

- ① 国際登録番号: 国際登録番号を7桁で記録する。

- ② 分割記号: 分割記号を“A～Z”で記録する。

- ③ セパレータ: “/”を記録する。

- ④ 防護番号: 防護標章登録の号数を1～3桁で記録する。

例) 商標登録第9876543号の分割の防護標章登録の場合、以下の様に記録する。

9876543A/1

No.18 国際登録日

国際登録日を記録する。フォーマットはNo.7を参照。

No.19 事後指定日

事後指定日を記録する。フォーマットはNo.7を参照。

No.20 レコードデリミタ

制御文字CR・LFを用いる。

各種別の公報フォーマットを以下に示す。

表3-2-2-4 意匠公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	状態マーク	V	文字	審
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
3	登録番号	V	文字	1014750
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
4	秘密解除意匠の登録番号	V	文字	1014750
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
5	意匠分類	V	文字	D2-332
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
6	意匠に係る物品	V	文字	学習机
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
7	登録日	8	文字	20150416
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
8	出願番号	V	文字	2015-123456
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
9	出願日	8	文字	20130315
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
10	都道府県国等	V	文字	東京
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
11	意匠権者	V	文字	意匠 太郎(外○名)
20	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)“V”は可変長であることを示す。

(注2)欠号となった公報は、状態マーク「欠」と登録番号のみを記録する。

表3-2-2-5 協議不成立意匠出願公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	状態マーク	V	文字	早
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
12	意匠登録出願番号	V	文字	2017-123456
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	意匠分類	V	文字	H5-41B
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
6	意匠に係る物品	V	文字	学習机
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	出願日	8	文字	20170305
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
10	都道府県国等	V	文字	東京
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
16	出願人	V	文字	意匠 太郎(外○名)
20	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)"V"は可変長であることを示す。

表3-2-2-6 商標公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	状態マーク	V	文字	早
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
3	登録番号	V	文字	4011102
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	登録日	8	文字	20150409
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
8	出願番号	V	文字	2013-123456
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	商品及び役務の区分	V	文字	13、14、29
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
10	都道府県国等	V	文字	東京
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
14	商標権者	V	文字	商標 二郎(外○名)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
15	分割納付マーク	V	文字	分
20	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)"V"は可変長であることを示す。

(注2)欠号となった公報は、状態マーク「欠」と登録番号のみを記録する。

表3-2-2-7 公開商標公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
8	出願番号	V	文字	2017-123456
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	出願日	8	文字	20170226
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	商品及び役務の区分	V	文字	13、14、29
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
16	出願人	V	文字	商標 二郎(外○名)
20	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)"V"は可変長であることを示す。

表3-2-2-8 公開国際商標公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
17	国際登録番号	V	文字	9876543
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
18	国際登録日	8	文字	20150604
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
19	事後指定日	8	文字	20160903
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	商品及び役務の区分	V	文字	9、11
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
16	出願人	V	文字	GENERAL BISCUIT BELGIE
20	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)"V"は可変長であることを示す。

表3-2-2-9 国際商標公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	状態マーク	V	文字	審
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
17	国際登録番号	V	文字	9876543
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	登録日	8	文字	20150604
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	商品及び役務の区分	V	文字	9、11
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
14	商標権者	V	文字	GENERAL BISCUIT BELGIE
20	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)"V"は可変長であることを示す。

3.2.3 審決公報

制御文字CR・LFをレコードデリミタとするテキストファイル形式とする。1目次レコード/公報とし、各レコードは可変長とする。また、各レコードは文献番号順にソートして記録する。

No.1 種別

種別を記録する。各公報に該当する種別を以下に示す。

特許審決公報:「無効」「訂正」「訂正無効」「補正却下不服」「拒絶査定不服」のいずれか。

特許部分確定審決公報:「無効」「訂正」のいずれか。

特許決定公報:「異議」「除斥」「忌避」「請求書却下」「手続受継許否」「補正却下」「参加許否」「証拠保全」のいずれか。

特許部分確定決定公報:「異議」のみ。

実用新案審決公報:「無効」「訂正」「訂正無効」「補正却下不服」「拒絶査定不服」のいずれか。

実用新案部分確定審決公報:「無効」「訂正」のいずれか。

意匠審決公報:「無効」「補正却下不服」「拒絶査定不服」のいずれか。

商標審決公報:「無効」「商標取消」「商標書換査定不服」「商標書換無効」「補正却下不服」「拒絶査定不服」のいずれか。

商標部分確定審決公報:「無効」「商標書換無効」のいずれか。

商標決定公報:「異議」「除斥」「忌避」「請求書却下」「手続受継許否」「補正却下」「参加許否」「証拠保全」のいずれか。

商標部分確定決定公報:「異議」のみ。

判決公報:「審決取消訴訟判決」「侵害訴訟等判決」のいずれか。

No.2 区切り文字(カンマ)

項目を区切る“,”を記録する。

No.3 審判番号

項目番号	①	②	③	④
文字数	V	4	1	6
内容例	訂正	2017	-	800001

- ① 種別: 種別を記録する。
- ② 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
- ③ デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
- ④ 審判番号の下6桁: 審判番号の下6桁を記録する。

No.4 審決日

審決日を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③
長さ	4	2	2
内容例	2020	04	01

- ① 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
② 月: 月を2桁で記録する。
③ 日: 日を2桁で記録する。

No.5 最終処分

最終処分のステータスを記録する。各公報に該当する最終処分を以下に示す。

各審決公報・再審公報:「差戻し」「成立」「不成立」「一部成立」「審決却下」のいずれか。

各決定公報:「取消」「維持」「一部取消」「決定却下」のいずれか。

No.6 特許番号

項目番号	①
文字数	7
内容例	1234567

- ① 特許番号: 特許番号を7桁で記録する。

No.7 審決分類

項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
文字数	1	V	V	1	V	1	V	V	1
内容例	P	1	23	.	121	-	ZA	(B65H)	⑦

- ① 四法: 四法の英字頭文字を記録する。
② 審級の種類: 審級の種類を記録する。
③ 審判・裁判の種類: 審判・裁判の種類を2～3桁で記録する。
④ デリミタ: ピリオド"."を記録する。
⑤ 判示事項: 判示事項を1～3桁で記録する。
⑥ デリミタ: ハイフン"-"を記録する。
⑦ 第1補助分類: 結論コードを1～2桁で記録する。
⑧ 第2補助分類: IPC、意匠分類、商品分類をカッコ書きで記録する。
⑨ 第3補助分類: 審決取消内容の記号を記録する。

No.8 発明の名称

発明の名称を記録する。

No.9 請求人

請求人名称を記録する。代表者1名のみ記載する。

No.10 被請求人等

被請求人名称を記録する。代表者1名または空欄を記載する。

No.11 事件番号等

項目番号	①	②	③	④
文字数	V	4	1	6
内容例	異議	2017	-	800001

- ① 種別: 種別を記録する。
② 西暦年: 西暦年を4桁で記録する。
③ デリミタ: ハイフン“-”を記録する。
④ 事件番号等の下6桁: 事件番号等の下6桁を記録する。

No.12 決定日

決定日を記録する。フォーマットはNo.4を参照。

No.13 申立人等

申立人名称を記録する。代表者1名のみ記載する。

No.14 権利者等

権利者名称を記録する。代表者1名または空欄を記載する。

No.15 登録番号

項目番号	①
文字数	7
内容例	1234567

- ① 登録番号: 登録番号を7桁で記録する。

No.16 考案の名称

考案の名称を記録する。

No.17 意匠に係る物品

意匠に係る物品の名称を記録する。

No.18 出訴番号

《 審決取消訴訟の場合 》

項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥
文字数	2	3	1	2	1	V
内容例	平成	28年	(	行ケ	)	第10001号

- ① 元号: 元号を記録する。
② 和暦年: 和暦年を2桁+“年”で記録する。
③ デリミタ: “(”を記録する。
④ 出訴区分: 出訴区分を2桁で記録する。
⑤ デリミタ: “)”を記録する。
⑥ 一連番号: “第”+一連番号1桁～5桁+“号”を記録する。

《 侵害訴訟等判決の場合 》

項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥
文字数	2	3	1	1	1	V
内容例	平成	13年	(	ワ	)	第50号

- ① 元号: 元号を記録する。
② 和暦年: 和暦年を2桁+“年”で記録する。
③ デリミタ: “(”を記録する。
④ 出訴区分: 出訴区分を1桁で記録する。
⑤ デリミタ: “)”を記録する。
⑥ 一連番号: “第”+一連番号1桁～5桁+“号”を記録する。

No.19 判決言渡日

判決言渡日を記録する。フォーマットはNo.4を参照。

No.20 原審番号

《 審決取消訴訟の場合 》

項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥
文字数	2	V	1	2	1	V
内容例	平成	9年	(	行ケ	)	第200号

- ① 元号: 元号を記録する。
② 和暦年: 和暦年+“年”で記録する。
③ デリミタ: “(”を記録する。
④ 出訴区分: 出訴区分を2桁で記録する。
⑤ デリミタ: “)”を記録する。
⑥ 一連番号: “第”+一連番号1桁～5桁+“号”を記録する。

《侵害訴訟等判決の場合》

項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥
文字数	2	V	1	1	1	V
内容例	平成	9年	(	ワ	)	第20号

- ① 元号: 元号を記録する。
 ② 和暦年: 和暦年+“年”で記録する。
 ③ デリミタ: “(”を記録する。
 ④ 出訴区分: 出訴区分を1桁で記録する。
 ⑤ デリミタ: “)”を記録する。
 ⑥ 一連番号: “第”+一連番号1桁～5桁+“号”を記録する。

No.21 事件名

発明の名称(特許の場合)、考案の名称(実用の場合)、意匠に係る物品(意匠の場合)、または商標名(商標の場合)を記録する。

No.22 原告

原告名称を記録する。代表者1名のみ記載する。

No.23 レコードデリミタ

制御文字CR・LFを用いる。

各種別の公報フォーマットを以下に示す。

表3-2-3-1 特許審決公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	無効
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
3	審判番号	V	文字	無効 2017-800001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分	V	文字	差戻し
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
6	特許番号(注 2)	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	P123 .567-Y (B07B)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
8	発明の名称	V	文字	選別機
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
10	被請求人等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)"V"は可変長であることを示す。

(注2)種別が「無効」「訂正」「訂正無効」以外は空欄

表3-2-3-2 特許部分確定審決公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	無効
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
3	審判番号	V	文字	無効 2017-800001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
6	特許番号	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
7	審決分類	V	文字	P123 .567-Y (B07B)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
9	請求人	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
10	被請求人等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表3-2-3-3 特許決定公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	異議
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
11	事件番号等	V	文字	異議 2017-700001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
12	決定日	8	文字	20170409
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分	V	文字	取消
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
6	特許番号(注 2)	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	P123 .567-Y (B07B)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
8	発明の名称(注3)	V	文字	選別機
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	申立人等	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
14	権利者等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)"V"は可変長であることを示す。

(注2)種別「異議」以外は空欄

(注3)種別「除斥」「忌避」以外は空欄

表3-2-3-4 特許部分確定決定公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	異議
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
11	事件番号等	V	文字	異議 2017-700001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
12	決定日	8	文字	20170409
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
6	特許番号(注 2)	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	P123 .567-Y (B07B)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	申立人等	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
14	権利者等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)"V"は可変長であることを示す。

(注2)種別「異議」以外は空欄

表 3-2-3-5 特許再審公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
3	審判番号	V	文字	再審 2017-950001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分	V	文字	差戻し
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	P123 .567-Y (B07B)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
8	発明の名称	V	文字	選別機
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)"V"は可変長であることを示す。

表 3-2-3-6 実用新案審決公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	無効
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
3	審判番号	V	文字	無効 2017-400001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分(注 2)	V	文字	差戻し
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
15	登録番号(注 2)	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	U123 .567-Y (B07B)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
16	考案の名称	V	文字	選別機
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
10	被請求人等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)"V"は可変長であることを示す。

(注2)種別が「無効」「訂正」「訂正無効」以外は空欄

表3-2-3-7 実用新案部分確定審決公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	無効
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
3	審判番号	V	文字	無効 2017-400001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
15	登録番号	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	U123 .567-Y (B07B)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
10	被請求人等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表3-2-3-8 実用新案再審公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
3	審判番号	V	文字	再審 2017-950001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分	V	文字	差戻し
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	U123 .567-Y (B07B)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
16	考案の名称	V	文字	選別機
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表 3-2-3-9 意匠審決公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	無効
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
3	審判番号	V	文字	無効 2017-880001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分	V	文字	差戻し
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
15	登録番号	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	D123 .567-Y (A1-1)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
17	意匠に係る物品	V	文字	選別機
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
10	被請求人等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表3-2-3-10 意匠再審公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
3	審判番号	V	文字	再審 2017-950001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分	V	文字	差戻し
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	D123 .567-Y (A1-1)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
17	意匠に係る物品	V	文字	選別機
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表 3-2-3-11 商標審決公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	無効
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
3	審判番号	V	文字	無効2017-890001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分	V	文字	差戻し
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
15	登録番号	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	T123 .567-Y (1213)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
10	被請求人等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表3-2-3-12 商標部分確定審決公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	無効
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
3	審判番号	V	文字	無効2017-890001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
15	登録番号	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	T123 .567-Y (1213)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
9	請求人	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
10	被請求人等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表 3-2-3-13 商標決定公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	異議
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
11	事件番号等	V	文字	異議2017-900001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
12	決定日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
5	最終処分	V	文字	取消
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
15	登録番号	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	T123 .567-Y (1213)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	申立人等	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
14	権利者等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表3-2-3-14 商標部分確定決定公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	異議
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
11	事件番号等	V	文字	異議2017-900001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
12	決定日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
15	登録番号	7	文字	1234567
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
7	審決分類	V	文字	T123 .567-Y (1213)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
13	申立人等	V	文字	特許 太郎
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	","
14	権利者等	V	文字	特許 次郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表3-2-3-15 商標再審公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
3	審判番号	V	文字	再審2017-950001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
4	審決日	8	文字	20171203
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
5	最終処分	V	文字	差戻し
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
7	審決分類	V	文字	T123 .567-Y (1213)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
9	請求人	V	文字	特許 太郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

表 3-2-3-16 判決公報の場合の目次レコードフォーマット

No	意味	文字数	データ タイプ	内容例
1	種別	V	文字	審決取消訴訟判決
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
18	出訴番号	V	文字	平成 28 年(行ケ)第 10001 号
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
19	判決言渡日	8	文字	20170409
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
20	原審番号	V	文字	平成 9 年(行ケ)第 200 号
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
21	事件名	V	文字	選別機
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“, ”
22	原告	V	文字	特許 太郎
23	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注)“V”は可変長であることを示す。

3.3 ファイルフォーマット[CONTENTS2.csv]

公開公報(特許)・登録公報(特許)・登録公報(実用)が対象となる。

先頭の情報のみを記録する(固定項目数タイプ)場合のフォーマットを表3-3-1に示す。公報が欠号の場合のフォーマットを表3-3-2に示す。公報が欠号の場合、審査請求の有無等(No.8)の先頭の欄に文字“欠”を記録する。その他の項目の内容は表3-3-2のとおり固定値とする。

表3-3-1 固定項目数の目次レコードフォーマット

No	意 味	文字数	データ タイプ	内 容 例
1	レコード長	5	文字	00125
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
3	部門・区分	5	文字	3(02)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
4	文献番号	V	文字	2022-090001
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
5	登録日(注3)	8	文字	20220416
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
6	出願番号	11	文字	2022-012345
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
7	審査請求の有無等の数	2	文字	01
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
8	審査請求の有無等	1	文字	評
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
10	IPC	27	文字	//A01H1234/456789(20050115)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
12	発明(考案)の名称	V	文字	ファクシミリ走査装置
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
15	都道府県国籍等	V	文字	東京
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
16	出願人または特許(実用新案登録)権者の 識別番号	11	文字	(090000423)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	“,”
18	出願人氏名(名称)または権者氏名 (名称)	V	文字	特許発明株式会社
19	レコードデリミタ	1	文字	CR LF

(注1)“△”は1バイトコードのスペースで領域を埋めることを示す。

(注2)“V”は可変長であることを示す。

(注3)登録日は特許公報または登録実用新案公報のみ。

(注4) No2、8を7回繰り返す。

No	意 味	文字数	データ タイプ	内 容 例	
1	レコード長	5	文字	00090	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
3	部門・区分	5	文字	△△△△△	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
4	文献番号	V	文字	特-03004001	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
5	登録日(注3)	8	文字	△△△△△△△△	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
5	出願番号	11	文字	△△△△△△△△△△	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
6	審査請求の有無等の数	2	文字	01	
2	注返繰 らしり	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "
7		審査請求の有無等	1	文字	欠(注5)
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
9	IPC	27	文字	△△△△△△△△△△	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
11	発明(考案)の名称	1	文字	△	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
14	都道府県国籍等	1	文字	△	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
15	特許(実用新案登録)権者の識別番号	11	文字	△△△△△△△△△△	
2	区切り文字(カンマ)	1	文字	", "	
17	特許(実用新案登録)権者氏名(名称)	1	文字	△	
18	レコードデリミタ	1	文字	CR LF	

(注5) 繰返しのうち1つ目は“欠”、2つ目以降は1バイトコードのスペース。

4. XMLファイル

公報1件分の文字データを記録するXML準拠のファイルで、テキストファイル形式とする。

公報の内容を表す文字データと、1バイトコードの英数字を同じく1バイトコードの“<”と“>”で囲んだタグから成る。

タグには、特許請求の範囲や図面などの公報の構成要素を表す論理構造用タグや下線などの制御機能を表すタグなどがある。

4.1 宣言及び参照

4.1.1 XML宣言

XMLファイルの先頭行にXML宣言が書かれている。

[例] <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>

これは、XMLファイルがXML1.0の規格に基づき、UTF-8コードで書かれていることを示す。

4.1.2 スタイルシートの参照

XML宣言に続いてスタイルシートの参照が書かれている。

[例] <?xml-stylesheet type="text/xsl" href="xxx.xsl" ?>

これは、関連するXSLファイルが“xxx.xsl”であることを示す。このXSLファイルはブラウザで表示するための一例として記述する。なお、公報種別ごとに必要となるXSLファイルについては『第 I 編 全体構成』の表3-6を参照。

4.1.3 名前空間とXMLスキーマファイルの参照

スタイルシートの参照に続いて名前空間とXMLスキーマファイルの参照が書かれている。

[例] <jppat:UnexaminedPatentPublication ...①
xmlns:jpcom="http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPCCommon" ...②
xmlns:jppat="http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPPatent" ...③
xmlns:com="http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Common" ...④
xmlns:pat="http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Patent" ...⑤
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" ...⑥
xsi:schemaLocation="http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPPatent
../..../XSD/JPUexaminedPatentPublication_V1_0.xsd"> ...⑦

上記は、それぞれ以下のことを示す。

- ①ルートタグは“jppat:UnexaminedPatentPublication”
- ②JPO共通の名前空間のURIとプレフィックス“jpcom”
- ③JPO特許の名前空間のURIとプレフィックス“jppat”
- ④WIPO ST.96共通の名前空間のURIとプレフィックス“com”
- ⑤WIPO ST.96特許の名前空間のURIとプレフィックス“pat”
- ⑥XMLスキーマインスタンスの名前空間のURIとプレフィックス“xsi”
- ⑦公報種別ごとの名前空間のURIとXMLスキーマファイルのファイルパス

公報種別ごとに必要となる名前空間については『第 II 編 各ファイルの詳細』の表8-1-1～表8-1-5を参照。

公報種別ごとに必要となるXMLスキーマファイルについては『第 I 編 全体構成』の表3-4-1を参照。

4.2 タグ

XMLファイル中で用いるタグを以下に示す。タグはすべて1バイトコードで表す。

(1) タグの表記法

タグには開始タグと終了タグとがある。例を使って表記法を示す。

[例]

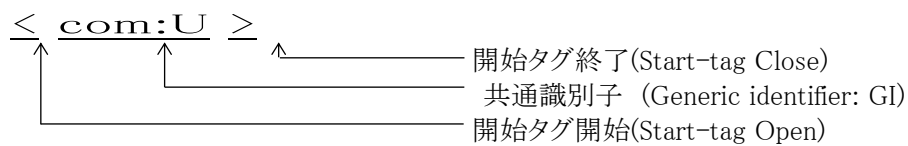
XMLファイル内のデータ

…ここからは<com:U> 下線付き</com:U>です。

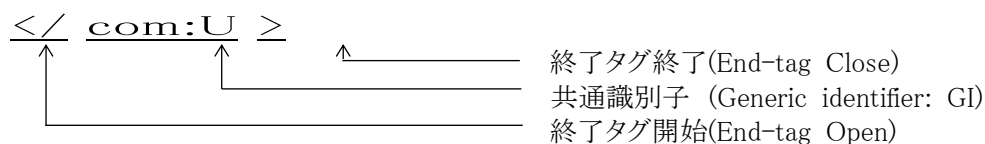
表示または印刷時

…ここからは下線付きです。

・開始タグ(Start-TAG)



・終了タグ(End-TAG)



・空タグ

コンテンツを伴わないタグ。

[例]

`<com:Br/>`

また、1つ以上の属性(Attribute)を持つタグもある。属性は開始タグ中に次のように表す。

[例]

`<jppat:UnexaminedPatentPublication com:languageCode="ja" com:st96Version="V2_1" ... />`

属性

共通識別子と属性の間、また属性と属性の間には1バイトコードのスペースを1つ挿入する。

(2) 文字の置き換え

以下の文字列はタグではなく、タグの開デリミタ"<"と閉デリミタ">"を、データとして用いることができるように、表示または印刷時に文字を置き換えて使用する文字列である。

以下の文字列がデータ中に現れた場合、表示または印刷時には、" "内の文字に置き換える。すべて1バイトコードである。

- ① > ... ">"を表す。
- ② < ... "<"を表す。
- ③ & ... "&"を表す。
- ④ ' ... "'"を表す。
- ⑤ " ... "\""を表す。

(3) タグの包含関係

全てのタグは必ず包含関係にあり、一部分が重なることはない。したがって、図4-2-1のような文字列の場合、図4-2-3は誤りで、図4-2-2が正しいテキストデータである。

これは下付きの下線の例です。

図4-2-1 表示例の文字列例

これは<com:Sub>下付きの<com:U>下線</com:U></com:Sub><com:U>の例</com:U>です。

図4-2-2 正しいテキストデータ例

これは<com:Sub>下付きの<com:U>下線</com:Sub>の例</com:U>です。

包含関係がなく、部分的に重なっている

図4-2-3 不正なテキストデータ例

5. イメージファイル

イメージデータを記録するファイルである。公報1件につき、0～複数件存在する。

5.1 イメージデータ

(1) データ種別

イメージデータのデータ種別を以下の表5-1-1に示す。圧縮方式は、白黒2値図面の場合G4(CCITT Group4)とし、カラー及びグレースケールの場合JPEGを採用する。以降、G4形式のイメージファイルをTIFFファイル、JPEG形式のイメージファイルをJPEGファイルと記載する。

イメージデータは出願人が出願したファイルをそのまま使用する。また、TIFFファイルはシングルTIFF形式とする。

表5-1-1 データ種別

圧縮形式	ファイル拡張子	カラー/2値
G4	tif	白黒2値
JPEG	jpg	グレースケール(256色)
		フルカラー(約1600万色)

(2) 画像サイズ

出願されたイメージデータと同じサイズで記録する。

(3) 画素密度(解像度)

出願されたイメージデータと同じ解像度で記録する。

(4) 符号化方式

『CCITT勧告 T.6 ベーシックファクシミリ符号化方式(二次元圧縮方式)』及び

『カラー静止画符号化国際標準化方式(JPEG;Joint Photographic Expert Group方式)』を用いる。

5.2 XMLファイルとイメージファイルの関係

XMLファイル中のイメージを表すタグ〈com:Image …〉とイメージファイル名の間を、以下の例で示す。

[例]

•XMLファイルの内容(注1)

```

      .
      .
<com:P com:pNumber="0001">
  <com:ChemicalFormulae com:chemicalFormulaeNumber="1">
    <com:Image> ... ①
      <com:ImageFormatCategory>TIFF</com:ImageFormatCategory>
      <com:FileName>yyyynnnnnnn000001.tif</com:FileName>
    </com:Image>
  </com:ChemicalFormulae>
</com:P>
      .
      .
<pat:Drawings>
  <pat:Figure>
    <pat:FigureNumber>1</pat:FigureNumber>
    <com:Image> ... ②
      <com:ImageFormatCategory>TIFF</com:ImageFormatCategory>
      <com:FileName>yyyynnnnnnn000002.tif</com:FileName>
    </com:Image>
  </pat:Figure>
  <pat:Figure>
    <pat:FigureNumber>2</pat:FigureNumber>
    <com:Image> ... ③
      <com:ImageFormatCategory>JPEG</com:ImageFormatCategory>
      <com:FileName>yyyynnnnnnn000003.jpg</com:FileName>
    </com:Image>
  </pat:Figure>
  <pat:Figure>
    <pat:FigureNumber>3</pat:FigureNumber>
    <com:Image> ... ④
      <com:ImageFormatCategory>TIFF</com:ImageFormatCategory>
      <com:FileName>yyyynnnnnnn000004.tif</com:FileName>
    </com:Image>
  </pat:Figure>
</pat:Drawings>
      .
      .
```

(注1) イメージ関係以外のタグは省略。

- ① 化学式のイメージを表すタグ。
1番目のイメージなので、イメージファイル「yyyynnnnnnnn000001.tif」に対応する。
- ② 図1のイメージを表すタグ。
2番目のイメージなので、イメージファイル「yyyynnnnnnnn000002.tif」に対応する。
- ③ 図2のイメージを表すタグ。
3番目のイメージなので、イメージファイル「yyyynnnnnnnn000003.jpg」に対応する。
- ④ 図3のイメージを表すタグ。
4番目のイメージなので、イメージファイル「yyyynnnnnnnn000004.tif」に対応する。

6. 参照ファイル

塩基配列又はアミノ酸配列等のデータを記録したファイルで、1件の公報におけるXMLファイルからの外部リンクにより参照される。

参照ファイルにはバイナリファイル形式及びテキストファイル形式がある。

6.1 参照ファイルの表示

参照ファイルは以下のように、XMLファイルからの外部リンクにより参照される。

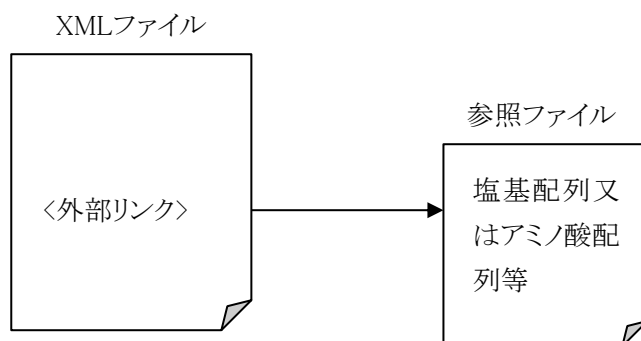


図6-1-1 外部リンクによる参照イメージ

7. XSLファイル

XMLファイルをソフトウェア(ブラウザ等)で表示させるためのスタイル(書式)の一例を記録するファイルである。
公報種別ごとに対応したXSLファイルが存在する。(最新のXSLファイルは、最新の公報を参照のこと。)
公報種別ごとのXSLファイル名については『第 I 編 全体構成』の表3-6を参照。

7.1 バージョン情報の付与ルール

XSLファイルには、下記の例に示すようにバージョン情報をコメント行として付与する。

[例] <?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>

```
<!--*****-->
<!--XSL Version:V1.0-01-01,DATE 2022.01.04 -->
<!--*****-->
```

バージョン情報の位置は3行目に設定する。2行目と4行目は区切りのコメント行とする。

バージョン情報の掲載内容と掲載項目の設定ルールを以下に示す。

- ①固定文字列(半角12文字) : 「XSL Version:」。
- ②バージョン番号(半角10文字) : VX.X-MM-DD。
 - V : 固定文字、バージョンを示す。
 - X.X : 公報仕様のバージョン番号。
 - MM : 同一公報仕様のバージョン番号内での変更通番。
XSLファイルに変更が生じた単位に+1。
 - NN : XSLファイルの各ファイル単位の変更通番。
各ファイル単位に変更が生ずれば+1。

※ バージョン番号は一元管理することとする。

- ③DATE : 変更日。

7.2 XSLファイルに記載する名前空間

XSLファイルには、下記の例に示すように使用する名前空間を記載する。

[例] <xsl:stylesheet version="1.0"

xmlns:xsl="http://www.w3.org/1999/XSL/Transform"	・・・①
xmlns:jpcom="http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPCCommon"	・・・②
xmlns:jppat="http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPPatent"	・・・③
xmlns:com="http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Common"	・・・④
xmlns:pat="http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Patent">	・・・⑤

上記は、それぞれ以下のことを示す。

- ①W3CのXSLTを"xsl:"として記すことを示す
- ②JPO共通の名前空間のURIとプレフィックス"jpcom"
- ③JPO特許の名前空間のURIとプレフィックス"jppat"
- ④WIPO ST.96共通の名前空間のURIとプレフィックス"com"
- ⑤WIPO ST.96特許の名前空間のURIとプレフィックス"pat"

公報種別ごとに必要となる名前空間については表8-1-1～表8-1-5を参照。

8. XMLスキーマファイル

XMLファイルの論理的構造を定義するファイルで、テキストファイル形式とする。

「W3C XML Schema Definition Language (XSD) 1.1 Part 1: Structures」と「W3C XML Schema Definition Language (XSD) 1.1 Part 2: Datatypes」に従って記載されている。

WIPO標準のST.96をベースにJPOにて拡張したものを使用する(但し、審決公報はJPO独自で定義したものでありST.96をベースとはしていない)。

XMLスキーマファイルごとに名前空間を持ち、異なる名前空間の定義を利用する場合はimportして使用する。

8.1 使用する名前空間

使用するXMLスキーマファイルとそのXMLスキーマファイルが所属する名前空間(プレフィックス及びURI)を示す。また、公報種別ごとに使用する名前空間もあわせて記述する。

表8-1-1 公報種別と名前空間のプレフィックスの対応(1/2)

No	公報種別	名前空間のプレフィックス
1	公開特許公報	jppat
2	補正の掲載(公開特許公報)	jppat
3	訂正(公開特許公報)	jppat
4	公表特許公報	jppat
5	国際公開後における補正の掲載	jppat
6	訂正(公表特許公報)	jppat
7	訂正(国際公開後における補正の掲載)	jppat
8	特許公報	jppat
9	訂正(特許公報)	jppat
10	訂正(公告特許公報)	jppat
11	訂正(公開実用新案公報)	jputl
12	訂正(公表実用新案公報)	jputl
13	訂正(実用新案公報)	jputl
14	訂正(公告実用新案公報)	jputl
15	登録実用新案公報	jputl
16	訂正(登録実用新案公報)	jputl
17	訂正明細書等の掲載	jputl
18	訂正(訂正明細書等の掲載)	jputl
19	意匠公報	jpdgn
20	訂正(意匠公報)	jpdgn
21	協議不成立意匠出願公報	jpdgn
22	訂正(協議不成立意匠出願公報)	jpdgn
23	公開商標公報	jptmk
24	訂正(公開商標公報)	jptmk
25	出願公開後における補正の掲載(公開商標公報)	jptmk
26	公開国際商標公報	jptmk
27	訂正(公開国際商標公報)	jptmk

表8-1-1 公報種別と名前空間のプレフィックスの対応(2/2)

No	公報種別	名前空間のプレフィックス
28	出願公開後における補正の掲載(公開国際商標公報)	Jptmk
29	商標公報	jptmk
30	訂正(商標公報)	jptmk
31	国際商標公報	jptmk
32	訂正(国際商標公報)	jptmk
33	訂正(商標書換登録公報)	jptmk
34	特許審決公報	jptrd
35	特許部分確定審決公報	jptrd
36	特許決定公報	jptrd
37	特許部分確定決定公報	jptrd
38	特許再審公報	jptrd
39	実用新案審決公報	jptrd
40	実用新案部分確定審決公報	jptrd
41	実用新案再審公報	jptrd
42	意匠審決公報	jptrd
43	意匠再審公報	jptrd
44	商標審決公報	jptrd
45	商標部分確定審決公報	jptrd
46	商標決定公報	jptrd
47	商標部分確定決定公報	jptrd
48	商標再審公報	jptrd
49	特許判決公報	jptrd
50	実用新案判決公報	jptrd
51	意匠判決公報	jptrd
52	商標判決公報	jptrd
53	訂正(審決公報)/訂正(判決公報)	jptrd
54	訂正(部分確定審決公報)	jptrd

表8-1-2 公報種別に対応するXMLスキーマファイルから
importして使用するXMLスキーマファイルと名前空間のプレフィックスの対応

No	種別	名前空間のプレフィックス
1	WIPO ST.96共通	com
2	W3C MathML (数式)	m
3	OASIS Table (表)	tbl
4	WIPO ST.96特許	pat
5	WIPO ST.96意匠	dgn
6	WIPO ST.96商標	tmk
7	JPO共通	jpcom

(注)No2とNo3はWIPO ST.96共通からimportされている。

表8-1-3 XMLスキーマインスタンスと名前空間のプレフィックスの対応

No	種別	名前空間のプレフィックス
1	XMLスキーマインスタンス	xsi

表8-1-4 名前空間のプレフィックスとURIの対応

No	名前空間のプレフィックス	名前空間のURI
1	xsi	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
2	com	http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Common
3	m	http://www.w3.org/1998/Math/MathML
4	tbl	http://www.oasis-open.org/tables/exchange/1.0
5	pat	http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Patent
6	dgn	http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Design
7	tmk	http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Trademark
8	jpcom	http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPCCommon
9	jppat	http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPPatent
10	jputl	http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPUtility
11	jpgdn	http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPDesign
12	jptmk	http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/ST96/JPTrademark
13	jptrd	http://www.jpo.go.jp/standards/XMLSchema/JPTrialDecision

(注1)No3とNo4はWIPO ST.96共通からimportされている。

(注2)名前空間のURIは名前空間を識別するための単なる名称である。

(公報を提供する際はXMLスキーマファイルも公報の一部として提供するので実URIではない)

表8-1-5 公報種別と使用する名前空間のプレフィックスの対応(1/2)

No	公報種別	使用する名前空間のプレフィックス										
		xsi	com	pat	dgn	tmk	jpcom	jppat	jputl	jpdgn	jptmk	jptrd
1	公開特許公報	○	○	○			○	○				
2	補正の掲載(公開特許公報)	○	○	○				○				
3	訂正(公開特許公報)	○	○	○			○	○				
4	公表特許公報	○	○	○			○	○				
5	国際公開後における補正の掲載	○	○	○				○				
6	訂正(公表特許公報)	○	○	○			○	○				
7	訂正(国際公開後における補正の掲載)	○	○	○				○				
8	特許公報	○	○	○			○	○				
9	訂正(特許公報)	○	○	○			○	○				
10	訂正(公告特許公報)	○	○	○				○				
11	訂正(公開実用新案公報)	○	○	○					○			
12	訂正(公表実用新案公報)	○	○	○					○			
13	訂正(実用新案公報)	○	○	○					○			
14	訂正(公告実用新案公報)	○	○	○					○			
15	登録実用新案公報	○	○	○			○		○			
16	訂正(登録実用新案公報)	○	○	○			○		○			
17	訂正明細書等の掲載	○	○	○					○			
18	訂正(訂正明細書等の掲載)	○	○	○					○			
19	意匠公報	○	○		○		○			○		
20	訂正(意匠公報)	○	○		○		○			○		
21	協議不成立意匠出願公報	○	○		○		○			○		
22	訂正(協議不成立意匠出願公報)	○	○		○		○			○		
23	公開商標公報	○	○			○	○				○	
24	訂正(公開商標公報)	○	○			○	○				○	
25	出願公開後における補正の掲載(公開商標公報)	○	○			○					○	
26	公開国際商標公報	○	○			○	○				○	
27	訂正(公開国際商標公報)	○	○			○	○				○	
28	出願公開後における補正の掲載(公開国際商標公報)	○	○			○					○	
29	商標公報	○	○			○	○				○	
30	訂正(商標公報)	○	○			○	○				○	

表8-1-5 公報種別と使用する名前空間のプレフィックスの対応(2/2)

No	公報種別	使用する名前空間のプレフィックス										
		xsi	com	pat	dgn	tmk	jpcom	jppat	jputl	jpdgn	jptmk	jptrd
31	国際商標公報	○	○			○	○				○	
32	訂正(国際商標公報)	○	○			○	○				○	
33	訂正(商標書換登録公報)	○	○			○	○				○	
34	特許審決公報	○										○
35	特許部分確定審決公報	○										○
36	特許決定公報	○										○
37	特許部分確定決定公報	○										○
38	特許再審公報	○										○
39	実用新案審決公報	○										○
40	実用新案部分確定審決公報	○										○
41	実用新案再審公報	○										○
42	意匠審決公報	○										○
43	意匠再審公報	○										○
44	商標審決公報	○										○
45	商標部分確定審決公報	○										○
46	商標決定公報	○										○
47	商標部分確定決定公報	○										○
48	商標再審公報	○										○
49	特許判決公報	○										○
50	実用新案判決公報	○										○
51	意匠判決公報	○										○
52	商標判決公報	○										○
53	訂正(審決公報)/訂正(判決公報)	○										○
54	訂正(部分確定審決公報)	○										○

9. 音声ファイル

公報1件分の音声データを記録するファイル。

ファイルフォーマットはMP3(エムピースリー、MPEG Audio Layer-3)とする。